

(日)人間自然科学研究所、国民日報趙旻濟社長に感謝状



国民日報 趙旻濟(チョミンジェ、写真中央)代表取締役社長が、日本人間自然科学研究所小松昭夫(66・左側) 理事長から、自然開発報道に関して感謝状を受けた。

小松理事長は16日ソウル・汝矣=ヨイ=島の国民日報ビル11階で開かれた“国民家族”の水曜礼拝に参加して、趙旻濟社長に国民日報セクション・イウツ(隣り)が去る1月、日本島根半島の治山治水の英雄三人の業績に対して、「『神と自然』という観点で報道してくださったことを光栄だ思う」と、感謝状を授与した。授与式には人間自然科学研究所の金顯哲(キムヒョンチョル、78・前放送委員会企画室長) 顧問が同席した。

去る 1月 6日, 13日, 20日の3回にわたって報道された企画‘神と自然’は、論議を起こしている4大河川開発問題に対して「創造」「秩序」「視覚」で解答を求めようと日本島根県(出雲)で取材が行われ、人間自然科学研究所が取材を支援した。日本治山治水の英雄3人は運河、干拓などの開発事業を国民として推進した。この報道は彼らによる開発から300年あまりを経て、自然環境に及ぼした長所短所を集中報道した。

チョ・グッヒョン記者